桜前線と早春の花

森林インストラクター　武田隆治　渡部公　松崎龍之介

1　「 桜前線」とは

・日本各地の桜(ソメイヨシノ、ただし沖縄はカンヒザクラ　北海道はエゾヤマザクラ) の開花予想日を結んだ線のこと。前線とは前進する線という意味で元来は軍隊用語。
・昭和 42 年頃から用いられているマスコミによる造語で、気象用語ではない。
・今年(平成 26 年)の横浜の開花予想日は 3 月 31 日頃。

2　「桜」　よもやま話

・桜の種類は 600 種(自生の桜は 9 種　カンヒザクラを含め 10 種　シナノミザクラを含め 11 種)
・3 月初旬に横浜近郊で見られる桜　カンヒザクラ系(寒桜 河津桜　横浜緋桜)
・桜の寿命　ソメイヨシノは 70 年　エドヒガンは 1500 年
・花びらの数　一重 5 枚、半八重 7～10 枚、八重 11～60 枚、菊咲 60 枚～350 枚
・緑色の花はギョイコウ　黄緑色の花はウコン
・桜餅の葉はオオシマザクラ　桜湯にするのはカンザン
・房状(ブラシ状)に咲く桜　ウワミズザクラ　イヌザクラ

3　「 梅」　よもやま話

・日本原産と思われているが中国原産。薬用として奈良時代に渡来。
・奈良時代は桜より梅のほうがもてはやされた。
・早咲き、中咲き、遅咲きとあり、昔の人はそれぞれ歓梅、賞梅、惜梅と云って梅見を楽しんだ。
・梅の種類は 400 種。「思いのまま」といって紅白の花が同じ枝に咲く梅もある。
・「梅にウグイス」は嘘。梅に来るのはメジロ。
・梅干の最高級品「南高梅」　和歌山県立南武高校園芸部が昭和 40 年に開発したもの。
・あんばいが良いとか悪いとか言うときの「塩梅」とは梅と塩の味付け具合のこと。
・ロウバイは蝋梅と書くが梅ではない。(ロウバイ科の植物。梅はバラ科)

4　その他の早春の花

・春の七草　　目立たない花が多い。
　セリ　ナズナ　ゴギョウ　ハコベラ　ホトケノザ　スズナ　スズシロ
・名前に季節感がある花　　福寿草(別名　元日草)　節分草　マンサク
・香りの良い花　　梅　水仙　菜の花　ミツマタ　ジンチョウゲ
・地面に咲く花　　オオイヌノフグリ　ヒメオドリコソウ　ホトケノザ　キランソウ
・黄色が目立つ花　　サンシュユ　マンサク　菜の花　レンギョウ　タンポポ

(次回は 4 月 13 日(日) 「春の里山を訪ねて」を予定しています。)